

男女共同参画センター

生涯学習センター

DV総合対策センター

相談する

図書を借りる

視聴覚機材や
PCを借りるホールや研修室を
借りる[トップページ](#) > [生涯学習センター](#) > [講座レポート](#) > 29年度>家庭教育支援者リーダー等養成講座>家庭教育支援者リーダー等養成講座を開催しました【第4回】

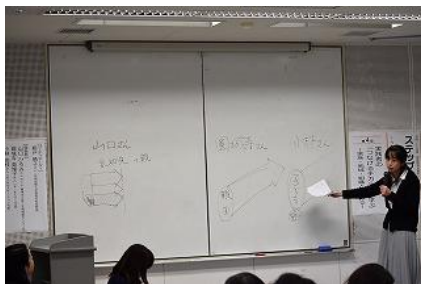
家庭教育支援者リーダー等養成講座を開催しました【第4回】

平成29年度「家庭教育支援者リーダー等養成講座」（7回連続講座）の第3回を11月24日（金）に開催しました。

■ 講座チラシはコチラをご覧ください→  [講座チラシ](#) (1119KB; PDFファイル)

第4回 実践者の「つなげるチカラ」に学ぶ ～家族・地域・組織とつなげる～

第4回は、宮崎国際大学教育学部准教授の相戸晴子さんにコーディネートしていただきながら、県内で支援活動に取り組まれている3名の方に、その実践についてお話しいただきました。



【コーディネーター】相戸晴子さん（宮崎国際大学准教授）

「自分とは違う実践（支援活動）についてしっかり『知ること』、そして、第5回現地研修、第6回ふりかえりの回をとおして、『研究すること』を目指していきましょう」と、相戸先生。「研究というと難しく感じるかもしれませんが、最前線にいる皆さんだからこそわかる視点を研究し、問題意識や課題を見つめながら取り組んでいきましょう」とエールを送られました。

事例発表

3名の方からそれぞれの活動について事例を発表していただきました。



● 山口 ひろみさん（NPO法人唐津市子育て支援情報センター/唐津市）

「少しでもお母さん方の力になりたい」と保護者の声を拾いながら、子育ての悩み相談窓口の一本化をはかり、病後児保育や送迎のサポートなども行う。地域の住民、行政、公民館などと連携し、親子を地域で支える支援づくりに力を入れて取り組んでいる。今年度から新たに「りんく」（唐津市東城内1-3）の3階に支援センターを開設し、大手口センタービルと2か所で活動中。



● 圓城寺 真理子さん（ま・まんでい代表/小城市）
「小城の子ども達に関わるすべての大人達の居場所づくり」をモットーに、活動を始めて2年目。参加者が得意なことを活かして、お茶やパン作りなどの講師を務めるなど、参加者の活動参画も図っている。子どもの見本となる大人が楽しんで笑顔でいたり、誰かの役に立てる喜びや誇りをもつことは子どもに同じ心を育むことに通じると活動に取り組んでいる。



● 小林 由枝さん（よりみちステーション代表/武雄市）
学童保育の対象とならない子ども達の居場所「ぼちぼちや」を6年前にスタート。「子どもを預かる」、ではなく、「子どもが遊びにくる」というイメージの場所で、子ども達が自分らしく、自由に、安心して過ごせる居場所づくりを進めている。よりみちステーションは、他にも中学生と赤ちゃんのふれあいの場「てくてく」や子どもや若者が安心して集える場「くむくむ」などの活動もしている。

相戸先生は、3名の活動の特徴について『親と子を支援している』山口さんと、『子育て中の親を支援している』圓城寺さん、そして『子どもを中心に支援している』小林さん。それぞれ直接関わる相手は違うけれど、3名に共通して言えることは、子どもを真ん中に据えながら、乳幼児や親、子どもとそれぞれ関わる相手の現状をよく『見て』、『思いをくみ取り』、そして、相手の生き方そのものやありのままの姿を受け入れ『承認』していることです」とまとめられました。さらに「これからは『つなげるチカラ』が求められています。3名の事例発表者を参考にしながら、困難を抱えた家庭の事情に寄り添い、支援者へとつなげていきましょう」と、呼びかけられました。

● グループワーク

その後、現地研修メンバーのグループに分かれ、気づきや感想を共有しました。話し合うことで視点の広がりや深みを増し、「いろんな考え方や見方があるんですね」、「皆さんのいろんな視点から新たな気づきを得ました」などの感想が寄せられました。



● 交流会

講座の後は、相戸先生や3名の事例発表者を囲んで交流会を行いました🍷
講座では語り尽くせなかった思いを語りあい、受講生同士の交流を深める機会となりました🍷

- [戻る](#)

